

展示室5

DAIDO ALBUM

◎会期:2023年4月12日[水]～6月26日[月]
◎会場:展示室5



森山大道《街》
1953年 墨・水彩・紙 島根県立美術館蔵
©Daido Moriyama Photo Foundation



1969-70年 祐天寺
プロヴォーク事務所近くのバー「ドン」にて
左:森山大道、右:中平卓馬



2012年 テート・モダン、ロンドン
左:森山大道、右:ウィリアム・クライン

展示室4

写真史のなかのDAIDO

◎会期:2023年3月23日[木]～7月3日[月]
◎会場:展示室4



1. 森山大道《犬の町(何かへの旅+3)より》
青森県・三沢市にて
1971年 島根県立美術館蔵
©Daido Moriyama Photo Foundation
2. ラスコ・モイナジ《フォトグラム》
1923年 島根県立美術館蔵
3. 作者不詳《二人の肖像》
1840-50年頃 島根県立美術館蔵

関連イベント

美術講座「森山大道 光の記憶」《聴講無料》

【講師】 喜谷典子 (当館主任学芸員・本展企画者)
【日時】 4月28日(日) 14:00～(開場13:30～/約90分)
【会場】 美術館ホール(190席) ※当日先着順

スライドトーク 《聴講無料》

【講師】 喜谷典子 (当館主任学芸員・本展企画者)
【日時】 4月30日(日)、5月14日(日)、6月4日(日) 各日14:00～(約60分)
【会場】 美術館ホール(190席) ※当日先着順

美術館キネマ 《鑑賞無料・当日先着順・各回30分前開場》

【会場】 美術館ホール(190席)

I.「過去はいつも新しく、未来はつねに懐かしい」
写真家 森山大道」(112分/日本/2020年)

【日時】 4月23日(日)、6月10日(土) 各日①10:30～ ②14:00～ (各回30分前開場)
監督・撮影・編集: 岩間玄

II.「森山大道 サンパウロ、路上にて」(60分/日本/2008年)

【日時】 5月13日(土) ①10:30～ ②14:00～ (各回30分前開場)
監督: 渡辺 聡

III.「near equal」森山大道」(84分+10分インタビュ/日本/2002年)

【日時】 5月27日(土) ①10:30～ ②14:00～ (各回30分前開場)
監督: 藤井謙二郎

IV.「記録」MOVIE in LONDON 森山大道
(80分/日本/2013年)

【日時】 6月17日(土) ①10:30～ ②14:00～ (各回30分前開場)
監督: 佐藤 亮

主催/島根県立美術館、TSKさんいん中央テレビ
山陰中央新報社、SPSしまねグループ

特別協力/森山大道写真財団、東京工芸大学

Akio Nagasawa Gallery

タカ イシギヤラリー

蒼穹舎 大田通貴、アトスベース シモダ

後援/朝日新聞松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局
産経新聞社、中国新聞社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局
日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン



観 覧 料	当日券		オンラインチケット・ ローンチケット
	個人	団体	
一 般	1,300円	1,040円	1,000円
大 学 生	1,000円	800円	780円
小中高生	400円	320円	300円

※観覧料にはコレクション展観覧料を含みます。

◎オンラインチケット・ローンチケットは2023年3月12日から販売 ◎オンラインチケットはホームページより、ローンチケットはローンチケット各店にてお求めになれます(ローンチケット1:コード63730)
◎団体料金は20名以上 ◎身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:ミライロID)療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被褥者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は無料

こどもといっしょの鑑賞優先時間
かぞくの時間

作品についてお子様とおはなしながら鑑賞いただけます。

【日時】 毎日10:00～12:00 ※休館日を除く
【対象】 0歳児からのお子様とその家族
【会場】 コレクション展示室・企画展示室
※閉室期間を除く

しまね家庭の日

【日時】 4月16日(日)、5月21日(日)、
6月18日(日) 各日14:00～(予定)
【テーマ】 色あそび
【会場】 アートスタジオ(事前申込制)

次回企画展予告

テオ・ヤンセン展

7月7日[金]～8月28日[月]



《交通案内》
●JR松江駅から徒歩約15分
●JR松江駅から松江市営バス
(南循環線内回り)6分
→「県立美術館前」下車
●観光ループバス(レイクライン)
→「県立美術館前」下車
●山陰道→松江西ランプ→車で約5分
(駐車場から地下道をご利用ください。)
※3時間まで無料



〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714
https://www.shimane-art-museum.jp



2023.

4.12.WED ▶ 6.26.MON

【開館時間】午前10時～日没後30分
(展示室への入場は日没時刻まで)
【休 館 日】火曜日
ただし5月2日は開館

光の記憶 Memories of Light

森山大道



PART. I

写真よさようなら
1964-1973

SECTION.1
にっぽん劇場写真帖

1.《にっぽん劇場》1967年
東京工芸大学写大ギャラリー蔵



SECTION.2 プロヴォーク



2.《東京環状・国道16号線(オン・ザ・ロード)より》1969年
東京工芸大学写大ギャラリー蔵
3.《スタア(アグシデント+8)より》1969年 東京工芸大学写大ギャラリー蔵

SECTION.3 何かへの旅



4.《地平線(何かへの旅+7)》1971年
東京工芸大学写大ギャラリー蔵
5.《写真よさようなら》1972年
東京工芸大学写大ギャラリー蔵

PART. II

光の化石
1974-1990

SECTION.4 もうひとつの国



SECTION.5 光と影



SECTION.6 仲治への旅



PART. III

街
1991-2023

SECTION.7 hysteric/新宿



SECTION.9 記録



SECTION.8

ハワイ/プエノスアイレス



11.《Daido hysteric no.4》1993年 作家蔵
12.《ハワイ》2007年 作家蔵
13.《記録 No.23》2012年 作家蔵

©Daido Moriyama Photo Foundation

光の記憶

森山大道

2023.
4.12.WED ▶ 6.26.MON

森山 大道(1938-)

大阪府池田市に生まれる。幼少期と少年期、島根県廻摩郡仁摩町宅野(現・大田市)に続く父の実家で育つ。1959年、大阪で岩宮武二のスタジオに入る。1961年、VIVOに憧れ上京し、細江英公の助手となる。1964年からフリーランスで活動。1967年、『にっぽん劇場』のシリーズで、第1回日本写真批評家協会新人賞を受賞。翌年写真集『にっぽん劇場写真帖』を出版。1968年、『PROVOKE』誌に参加。1972年、『写真よさようなら』『狩人』を出版し、新時代の旗手として多大な影響力をもった。1983年、『光と影』で日本写真協会年度賞受賞。2003年、『新宿』で毎日芸術賞受賞。2021年、朝日賞受賞。また、サンフランシスコ近代美術館(1999年)、パリ・カルティエ現代美術財団(2003、2016年)、ロンドン、テート・モダン(2012-2013年)をはじめ多数の国際展が開催される。2004年、ドイツ写真協会文化賞、2018年、フランス芸術文化勲章シュヴァリエ、2019年、ハッセルブラッド財団国際写真賞などを受賞し、国際的に高い評価を受けている。